

興味ある海上自衛隊の仕事を体験できて感激



隊員の説明を真剣に聞く生徒達



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原 陸尉）は1月24日（木）、海上自衛隊横須賀地方総監部で実施された横浜市内の中学校の職場体験学習を支援した。

当日はブリーフィングから始まり、横須賀地方総監部で部隊の任務等の説明を聞いた後、タグボートによる港内見学を実施した。

寒風吹き荒れる船上ではあったが、生徒達は海から見る護衛艦は初めてで、護衛艦の大きさに圧倒されていた。

次に、楽しみにしていた体験喫食ではステーキが出てきて、その肉の分厚さに驚くとともに「とても美味しい」との声が出ていた。

午後の護衛艦「おおなみ」の艦内見学では、まず居住空間見学で三段ベッドを見ると「寝る順番は上から偉い順ですか」との質問があり、艦内の生活に興味を持っていることを窺うことができた。

次の防火衣の着用では、初めての試着に難儀していたが、説明する隊員へ「着るのに普通は、どのくらいの時間がかかるのですか」と聞きながら、何とか全員が着用出来て、「実際に消火したことはありませんか」との質問も飛び出した。

艦橋見学では、艦長席に座らせてもらい、ご満悦な生徒の様子が印象的だった。更にはロープ訓練、手旗、ラッパ吹奏体験と続き、ラッパは実際に吹かしてもらったが音がなかなか出ず、吹奏の難しさを実感していた。

最後に感想を聞くと「以前から興味があった海上自衛隊の仕事をしている様子や艦内の見学、ロープ訓練等が出来て良かったです」と、満足そうに話してくれた。

上大岡募集案内所は、「今後も学校への自衛隊PRを積極的に行うとともに、学校教育の目的達成に寄与し、自衛隊への理解促進を図り、募集成果に繋いでいきたい」としている。

将来設計教育で海自隊員に即自等志願をPR

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本 貢祐）は、1月22日（火）、海上自衛隊横須賀地方総監部で実施された「平成30年度任期制士将来設計教育（キャリアビジョン設計教育）」において、海自隊員に対する予備自衛官等の制度説明を行い、予備自衛官・即応予備自衛官への積極的な志願を呼びかけた。

本教育は、主として1等海士を対象とし、近い将来設計のために必要な知識を付与するとともに自己の在り方の確立と能力開発を図る動機付けを目的として実施されており、今回は管内の部隊や艦艇から集合した隊員50名が参加した。

当日は、予備自衛官・即応予備自衛官の処遇や訓練内容等についてDVDやスライドを使用して紹介した。特に、即応予備自衛官については、陸上予備自衛官を経ることににより海上自衛官でも志願が出来ることなど、実際に活躍している元海上自衛官の即応予備自衛官を例示して説明した。

また、昨年10月には予備自衛官・即応予備自衛官の志願年齢拡大や災害招集等に応じた場合や公務上の負傷等により欠勤した場合の雇用企業に対する給付金制度が新設されるなど、様々な制度改正が進められていることについて紹介した。

教育後に実施されたアンケート調査では「予備自衛官・即応予備自衛官に志願したい」「予備自衛官等の訓練を見学してみたい」など積極的な声も聞かれた。神奈川地本は、「任期満了、依願、定年などの違いはあっても、誰しも自衛隊を離れるときがやってくる。退職後も予備自衛官等制度を積極的に活用して、在職中に培った知識や経験を活かし地域社会に貢献して頂きたい。制度について詳しく知りたい方は、気軽に地方協力本部に相談して欲しい。」とコメントする。



アンケート調査では「志願したい」との声も